

ようこそ島根大学「地域人材育成コース」へ

地域人材育成コースとは



地域志向型入試*1の合格者は、所属する学部の専門教育を受けるとともに、地域関連科目を系統的に学ぶことで、地域の現状と課題を知り、学部で学んだ専門的な知識を地域の課題に対して応用するための高度な知識とスキルを習得します。いろいろな学部にも所属している学生に地域関連科目を提供するために作っているのが「地域人材育成コース」です。ここにはコース独自の特色ある教育プログラムがあります。

地域人材育成コース専任教員の丸山です。各学部の兼任教員の皆さんや、コース生のこころざしと地域の企業を結ぶコーディネーターの皆さんと一緒に、コース生の学びを支えていきます。



地域人材育成コースの教育プログラム

コース生の学びは、入学前から始まります。島根大学の学習支援システムであるMoodleを使っていち早くオンライン授業に慣れるとともに、地域に対する理解を深めてもらいます。コース生必修の「入学セミナー」では、学生生活をスムーズに始められるように大学での学習法や、地域貢献活動に欠かせない情報リテラシーについて丁寧に説明します。このセミナーは同期のコース生と初めて出会う場でもあります。

そのあとに提供される教育プログラムには、地域に関連する知識を深める1～2年生向けの「ベースストーン(BS)科目」、地域課題と専門科目の関連を学ぶ2～3年生向けの「キャップストーン(CS)科目」、地域との協働作業を実践する「地域貢献インターンシップ」があります。この三つは学部ごとに授業科目が定められている正課科目(授業科目)です。

これらの正課科目以外に、コース生しか受講できない「イノベーション創成基礎セミナー」などの教育プログラムも用意されています。様々な学部の学生や地域の人たちとチームを作って課題解決するために必要な知識やスキルなどを学びつつ、学んだスキルを使って課題解決を実践する、というサイクルを経験することで、有為の人材として成長します。課題解決の実践の場には、他にも「キャリアデザインプログラム」「スタートアップセミナー」などの様々なPBLプロジェクトや「しまね大交流会」などのイベントがありますが、コース生はそれらにも積極的に参加して腕を磨くことが期待されています。

地域人材育成コース交流室

コース生は、いろいろと設備の整っているこの部屋を、セミナー・ワークショップ・グループ活動で利用できます。また地域貢献活動の参考書やPCなどを貸し出しますので、積極的に利用してください。



地域未来協創本部人材育成・キャリアデザイン部門

地域未来協創本部人材育成・キャリアデザイン部門長(丸山実子准教授)は、専任教員としてコースの管理運営を担当しています。一方、本部は「しまね産学官人材育成コンソーシアム」に参加して、島根県立大学、松江工業高等専門学校とともに、地域を支え・地域で活躍する若者の育成と県内定着を目的としたさまざまな取り組みを行っています。コース生は、コンソーシアム活動の中心的な役割を担うことで、より深く地域課題に取り組みます。



*1 入試は学部により異なります。法文学部・総合理工学部・生物資源科学部・材料エネルギー学部(仮称)「へるん入試地域志向入試」、教育学部「地域課題探究型」、人間科学部「地域貢献型」、医学部「地域枠」等が相当します。

